

2024. 7. 10

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

大学院生が最新の研究成果と研究の楽しさを高校生に発信
高校生×RARA ライスボールセミナーのご案内

立命館大学は、初芝立命館高校、及び京都府立嵯峨野高校の生徒を対象に、RARA 学生フェロー^{※1}(博士課程後期課程 大学院生)等が講師となり、研究の面白さを伝える「RARA ライスボールセミナー」を開催します。

立命館大学は、約 20 年前から昼休み時間に若手研究者の話を聴きながら軽食(おにぎり)を楽しむ「ライスボールセミナー」を継続的に開催しています。この取り組みは近年、大学内だけでなく、中高生を対象とした出前講義形式へと展開しています。今回は、探究学習を熱心に行っている 2 校を対象に出前講義を行い、本学の最新研究を分かりやすく説明し、その楽しさを伝えます。

立命館は、高校生が研究の面白さや楽しさを体験し、自身の好奇心を形にすることを応援しています。

記

開催①

日 程 : 2024 年 7 月 16 日 (火) 10:00～11:40
会 場 : 初芝立命館高校 2号館研修室 B
(〒599-8125 大阪府堺市東区西野 194-1)
講 師 : 立命館大学情報理工学部 西浦 敬信 教授
発表テーマ:ピンスポットオーディオ～音のピンポイント再生を目指して
立命館大学大学院理工学研究科 博士課程後期課程3回生 伊藤 裕貴 さん
発表テーマ:身の周りの物理学 今の先にある研究生活
受講生 : 初芝立命館高校 1 年生 170 人

開催②

日 程 : 2024 年 7 月 22 日 (月) 13:30～14:30
会 場 : 京都府立嵯峨野高校 会場未定
(〒616-8226 京都府京都市右京区常盤段ノ上町 15)
講 師 : 立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程2回生 野々山 隼弥 さん^{※2}
発表テーマ:スポーツ傷害と脳:足関節捻挫に対する新たな神経科学的アプローチの検証
立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科 博士課程後期課程1回生 松村 哲平 さん
発表テーマ:カフェインと運動の最前線～正しい“翼のさずかり方”～
受講生 : 嵯峨野高校 1 年生 20 人

※1 「RARA 学生フェロー」は、個々の研究力を深めるとともに異なる分野の国内外の研究者と交流しながら、ソーシャルインパクトを発揮することのできる人材となるべく研究活動に専念している博士課程後期課程学生です。((国)科学技術振興機構の支援を受けています)

※2 当日はオンライン発表の予定です。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

RARA ×

7/16火 2024 10:00～11:40

Venue：初芝立命館高校

RICEBALLSEMINAR

立命館大学では昼休みの時間におにぎりを食べながら、若手研究者の研究のお話を聴き、意見交換する取り組みを行っています。今回はRARAアソシエイトフェローの先生、大学院生であるRARA学生フェローのわくわくするような研究のお話を聴いて、大学や大学院での学び・生活をイメージをしてみませんか？



RARA
アソシエイトフェロー

『ピンスポットオーディオ ～音のピンポイント再生を目指して～』

研究内容紹介



にしうら たかのぶ
西浦 敬信 先生
立命館大学
情報理工学部 教授

音波は、発生すると広がって遠くまで伝播し、私たちの鼓膜を刺激します。その結果、聞きたい音もそうでない音も全部聞こえてしまうのが現状です。もし狙った1人にだけ音をピンポイントで届けることができれば…、音には私たちの生活を大きく変える力がまだまだ秘められています。スマートフォンのカメラは狙った遠くの物体をズームして当たり前のように撮影できますが、音のズームはまだ実現できていません。もし狙った遠くの音だけスマートフォンで録音できたら…、夢のような話に思うかもしれませんが、技術はもうそこまで近づいています。次世代ピンスポットオーディオの実力を体感してください。

自己紹介

自動車が好きで、高校生の頃はプロレーサーを目指してレーシングカートに没頭していました。その経験が転じて大学生からはスキル音や排気音等の自動車走行音に興味を持ち、現在は音の研究者として楽しく過ごしております。

『身の周りの物理学 今の先にある研究生活』

研究内容紹介

液晶をターゲットにした実験メインの研究をしています。液晶とは何ぞ、という人でも「液晶モニター」という言葉を知っていると思います。まさしくその液晶で、これは「液体」と「結晶」の中間にいる一風変わった物質です。私は日々、いろんな実験装置を駆使しながら、液晶の物性測定や解析を行っています。

RARA
学生フェロー

立命館大学大学院
理工学研究科 D3回生

いとう ゆうき
伊藤 裕貴 さん

自己紹介

RARA学生フェローの伊藤と申します。思い返すと高校時代の自分は、大学での研究生活なんて想像できていませんでした。きっと皆さんもそうではないかと思います。今回のお話（簡単な実験も予定しています…!）を通して、大学での研究の様子を身近に感じてもらえればうれしいです。



主催：立命館大学研究部
共催：初芝立命館高校

